

いわむろの風

【求める生徒像】

よりよい自分の在り方を求めて真剣に努力する生徒

新潟市立岩室中学校 ホームページアドレスはこちら → <http://www.iwamuro-j.city-niigata.jp/>

令和3年7月

■多様な場を通して、目指す姿・目標を高く掲げ、前に踏み出し、やり抜く力が鍛えられていきます。



■自分たちの手で活動を創り出しアクションを起こす



■挑戦を振り返り、目標を次へつなぐ

夏休みにあたって

ソーシャル・ボンドを増やす

校長 本多 豊

コロナ禍での新しい生活様式として「ソーシャル・ディスタンス」がすっかり一般的になりましたが、「ソーシャル・ボンド」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。

ボンドとは「接着剤」。生活の中の様々な体験を通して一人一人の内面に獲得される、「他者や集団と関係を築く必要感、楽しさや魅力、信頼感」といった他者や集団との「つながり＝接着剤(ボンド)」が束となり「ソーシャル・ボンド」(社会的絆)が形成されます。私たちは皆、自分の中の「ソーシャル・ボンド」によって他者、集団や社会とつながっています。

「ソーシャル・ボンド」を築く力は自立する上で欠かせない資質・能力です。そして「ソーシャル・ボンド」が太多多いと、自分と他者、集団や社会とのつながりが強くなり、集団や社会の中での自分の存在意味や役割に積極的に目を向け、人とどうかかわり、社会とどうつながっていかうとするのかを考えていく意欲が高まります。

学校では、この「ソーシャル・ボンド」を意識し、それを自ら築いていく力を育てたいと考えています。そのために、①試行錯誤やコミュニケーションの場を多く提供する。②よりよい対人関係を築くために必要な知識・技能(社会的スキル)を計画的に指導する。③実際に知識・技能を発揮しながら、目的を共有して他者と協働する体験およびそれを振り返る場や機会を工夫する。の三つを日々の授業をはじめとする学校生活の中で充実させるよう努めているところです。

さて、夏休みは、子どもたちが1日の大半を家庭、地域、社会で過ごします。様々な情報にじっくり触れる時間をもつこともできます。社会に目を向けたり普段できない多様な体験や人とのかかわりができるよい機会です。ぜひ、家庭、地域、社会で「ソーシャル・ボンド」を増やし、強くする夏休みであってほしいと願っています。

県中学校体育大会、下越地区吹奏楽コンクール結果

■保護者・地域の皆さんからのご支援・応援に感謝しつつ、それぞれの目標に精一杯挑みました。



◇全国中学校通信陸上大会県大会

1年男子1500M 土田豪暖 4分45秒47
共通女子1500M 福田せりえ 5分06秒72
共通男子200M 笛木瑞希 24秒27

◇県中学校体育大会

陸上競技

共通女子800M 福田せりえ 2分29秒9
共通女子1500M 福田せりえ 5分20秒0

バドミントン

【団体戦】女子 ① 対 佐和田中 2-1 勝 ② 対 柏崎東中 0-2 敗

男子 ① 対 高千中 1-2 敗

【個人戦】女子ダブルス 月岡紗衣・月岡紗也ペア ① 対 中条中 勝 ② 対 笹神中 敗

男子ダブルス 荒井昭人・齋藤遼太ペア ① 対 板倉中 勝 ② 対 吉田中 敗

男子シングルス 小林学人 ① 対 関原中 敗

野球

① 対 宮内中 3-2 勝 ②準々決勝 対 吉田中 1-6 敗 **ベスト8**

◇下越地区吹奏楽コンクール

中学校Bの部 金賞

新潟地区中学校体育大会の結果は学校ホームページに掲載してあるので、ご覧ください。